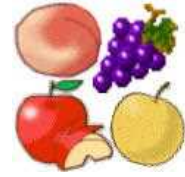




# 平成28年度 果樹情報 第13号

(平成28年9月21日)



福島県農林水産部農業振興課

## 1 気象概況 (9月前半：果樹研究所)

平均気温は、平年と比較すると1半旬が25.4℃で1.5℃高く、2半旬が24.7℃で2.1℃高く、3半旬が21.4℃で平年並に経過しました。

この期間の降水量は61.0mmで平年の77%でした。

## 2 生育概況

### (1) 果実肥大 (9月15日現在)

りんごの暦日比較では、「ふじ」は縦径104%、横径107%と平年に比べ大きく、また、満開後日数による比較でも平年より大きい状況です。

表1 主要品種の果実肥大  
(暦日比較 果樹研究所9月15日調査)

果実肥大	りんご	
	ふじ	
	縦径	横径
実測値(mm)	78.9	88.6
平年比(%)	104	107

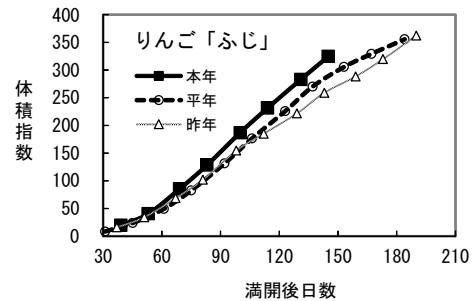


図1 りんご「ふじ」の果実肥大

### (2) なし

#### ア 主要品種の収穫期と果実品質

「幸水」の収穫盛は平年より9日早く、「二十世紀」は平年より12日早まりました。果実重は平年並からやや大きく、糖度は平年並でした。

表2 ナシ主要品種の収穫期と果実品質

品種	収穫始(月/日)			収穫盛(月/日)			収穫終(月/日)			果実重(g)			糖度(° Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
幸水	8/19	8/25	8/18	8/22	8/31	8/23	8/25	9/6	8/27	376	380	320	12.8	12.6	11.6
豊水	9/1	9/13	9/2	未	9/19	9/9	未	9/25	9/14	未	429	336	未	12.8	11.7
二十世紀	9/7	9/18	9/9	9/10	9/22	9/11	9/12	9/27	9/14	421	401	382	10.9	11.2	10.8
ラ・フランス	未	10/6	9/28	未	10/7	9/28	未	10/9	9/28	未	294	301	未	12.9	12.3

注) 平年値は、1986～2015年(ラ・フランスは1987～2015年)の平均値 未は未確定。

### (3) りんご

#### ア 「ふじ」の裂果発生状況

9月6日現在(満開後136日)の「ふじ」(マルバカイドウ台)の外部裂果率は6.7%、裂果発生率は33.3%で、いずれも昨年より高い状況です。また、「ふじ」(わい台)の外部裂果率は4.9%、裂果発生率は45.9%で、裂果発生率は平成25年以降最も高い状況です。

表3 「ふじ」の裂果発生状況

調査樹	樹齢	外部裂果率(%)				裂果発生率(%)			
		H28	H27	H26	H25	H28	H27	H26	H25
ふじ/マルバ	51年生	6.7	5.4	5.9	14.3	33.3	18.9	13.7	34.7
ふじ/わい台	20年生	4.9	0.0	0.0	7.9	45.9	14.1	5.0	21.1

※ 調査規模:マルバ台2樹、わい台(JM台)5樹の目通り付近から、それぞれ合計60果程度採取した。

※ 外部裂果率:つる割れ、浮皮等の割合、裂果発生率:外部裂果+内部裂果の割合

#### (4) ぶどう

##### ア 「シャインマスカット」の収穫期と果実品質

収穫始めは9月16日で、平年より6日遅れました。

表4 「シャインマスカット」の生育経過と果実品質

	収穫始(月/日)			収穫盛(月/日)			収穫終(月/日)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
	9/16	9/10	9/9	未	9/18	10/1	未	9/29	10/22
	果房重(g)			1粒重(g)			糖度(Brix)		
シャインマスカット	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
	未	462	780	未	10.2	16.7	未	18.4	16.8
	酒石酸(%)			糖酸比					
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年			
	未	0.31	0.22	未	61.3	77.8			

※ 平年値は2009～2015年の平均値。

### 3 栽培上の留意点

#### (1) もも

##### ア 秋肥の施用

収穫後、9月のできるだけ早い時期に秋肥を施用し、樹勢の回復と貯蔵養分の蓄積に努めましょう。秋肥は尿素を中心に速効性肥料を用い、窒素成分で7kg/10a程度(あかつき:中肥沃度地帯の場合)を施用します。なお、樹勢の低下が見られる樹では分肥し、窒素成分で秋肥を6～7割程度、春肥を3～4割の施用量としましょう。

##### イ 秋季せん定

本年は、若木や強勢樹の新梢に二次伸長が見られるため、樹勢に応じたせん定程度としましょう。樹勢が強く徒長枝の発生が多い強勢樹では、9月中旬頃(徒長枝が太る前)を目途に収穫が終了した品種から秋季せん定を実施し、花芽の充実と樹勢の安定化、秋期防除における薬液透過の改善を図りましょう。適勢樹では、主枝や垂主枝の生育を妨げる徒長枝を整理し、樹勢の乱れを防ぎましょう。弱勢樹では、秋季せん定を最小限とし、葉芽の多い中果枝や長果枝を多く配置することで、樹勢の回復を図りましょう。また、若木では適勢樹と同様の方法とします。

特に幼木から若木時代の冬季せん定が強せん定となると寒凍害を招きやすいため、夏季の新梢管理で残した主幹部の強勢な枝については秋季せん定時に整理し、冬季に大きな切り口を作らないように注意しましょう。

また、ももせん孔細菌病の罹病葉が多く見られる場合には、樹勢を乱さない範囲で枝をせん除し、菌密度の低減を図ることも効果的です。

## (2) なし

### ア 「あきづき」の収穫

「あきづき」の収穫は、日本なし地色用カラーチャートで地色指数3.5～4の果実が糖度や食味の点で優れます。なお、地色指数が4を越えると糖度は高くなるものの硬度が低下してシャリ感が消失する傾向が認められるため、収穫が遅れないように注意しましょう。

## (3) りんご

### ア 中生種の収穫前管理と収穫

中生品種は平年と比較して果実の成熟が進んでいるので、落果防止剤の散布、着色管理および収穫等の作業が遅れないようにしましょう。なお、落果防止剤の使用に当たっては、収穫前日数に注意しましょう。

収穫は、食味（果肉硬度、デンプン等）や地色の推移に十分注意し、適期収穫に努めましょう。

### イ 「ふじ」の収穫前管理

「ふじ」の生育は平年より進んでいることから、反射シートの敷設や摘葉等の収穫前管理は遅れないように実施しましょう。摘葉を9月下旬頃から実施する場合は、1回目は軽く実施し（3～4葉）、10月中旬に玉回しと合わせて再度強めに行いましょう。

## (4) ぶどう

### ア 収穫における留意点

収穫が遅れると脱粒や果肉が柔らかくなるなど果実品質の低下を招く恐れがあるため、適期収穫に努めましょう。

### イ 秋肥の施用

収穫後の9月中旬頃は秋根が活発に伸びる時期で養分吸収も盛んであるため、秋肥を施用し、来年の貯蔵養分を蓄積させます。ただし、新梢の遅伸びにも影響するので、自園での新梢の停止状況、葉色、新梢の登熟程度などをよく観察して施肥の量を判断しましょう。

施肥は尿素を中心に速効性肥料を用いて、窒素成分で2kg/10a（年間施肥量の3割程度）を目安に施用しましょう。

なお、樹勢が強い樹、葉色が濃く、遅伸びしているような新梢が多い樹では、秋肥の施用を控えましょう。

**気象庁[営農活動に役立つ気象情報]** <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

## 4 病虫害防除上の留意点

### (1) 病 害

#### ア りんごの各種病害

9月中旬以降、降雨により湿度が高い状態が続くと、褐斑病、すす点病、すす斑病の防除が必要となります。また、炭疽病が認められる場合、二次感染により発生が拡大するおそれがあるため、罹病果は見つけ次第速やかに除去しましょう。

#### イ ももせん孔細菌病

発生量は平年並であるものの、これまでの台風等の影響により、感染、発病が懸念される状況にあります。また、9月中～下旬に降水量が多いと翌春の春型枝病斑の発生が多くなる傾向にあるため、秋期防除を確実に実施することで越冬菌密度の低下を図りましょう。

ウ なし黒星病

本病の発生が多かった園では越冬菌密度の低下を図る必要があります。「豊水」収穫後に2回目の秋期防除を必ず行いましょう。なお、散布は枝の先端まで薬液が十分量到達するように散布しましょう。

(2) 虫 害

ア コスカシバ

本種による被害が多いもも園では、収穫後（9月中旬～下旬）に樹幹部及び主枝に登録のある薬剤を丁寧に散布しましょう。

イ クワコナカイガラムシ

発生の多い園では9月下旬までに枝幹部に麻袋や飼料袋などを巻き付けてバンド誘殺を行い、2月上旬に取り外して適切に処分しましょう。

**病害虫の発生予察情報・防除情報**

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>